

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 7 年 5 月 15 日
② 法人・団体名	団欒長屋プロジェクト		
③ 団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	大阪府豊中市蛸池西町 1-3-32		
③ 責任者氏名	洲上桃子	(役職名等)	代表
④ 担当者氏名	洲上桃子	(役職名等)	代表

【奨学活動の概要】					
⑤ 助成交付決定番号	R06-015	⑥ 助成金額	50 万円	⑦ 申請カテゴリ	B
⑧ 奨学活動名	団欒こども自習塾				
⑩ 主な実施場所名・及びその住所	団欒長屋 大阪府豊中市蛸池西町 1-3-32				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

定員約 10 名で対象はひとり親家庭もしくは塾に通っていない 10 代。16 時から 20 時までで、18 時ごろ夕飯を提供。夕飯前は大学生ボランティアと交流したりゆったりと過ごす。夕飯後は私語厳禁で自習に集中。初めのころは漢字練習など一人でできる学習を持ち込んでおり、大学生もどう接していいのかわからず傍らに手持無沙汰で座っているような状況だった。自習サポーター向け研修を繰り返し、徐々に雑談などで中高生との関係性ができてきた。そのあたりで数学強化月間を設け、数学のみを持ち込んでわからないところをマンツーマンで教えてもらうことで、その後も自らわからないところを聞くことができるようになった。

身近に大学生の知り合いがいない子がほとんどなので、まずは親しくなって大学進学へのイメージを持ってもらいたい、と大学生ボランティアには事前に話していたので、良いロールモデルになってもらえた。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	47	3.5	164.5	
高校生等	22	3	66	
大学生等	23	4	92	
学習支援員等	9	4	36	
その他	18	4	72	夕飯調理・米小分け作業等フードパントリー準備
合 計			430.5	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：

法人・団体名：団欒長屋プロジェクト

作成者 氏名：淵上桃子

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

ひとり親家庭や塾に通っていない子を対象とした夕飯付き自習サポートで、まずは大学生のロールモデルを身近に感じることで進学へのイメージを持ってもらうことと、自習への習慣をつけてもらうことを目的とした。

16 時から開け、入室した子から名簿に名前と入室時間、今日の自習目標を書いてもらう。夕飯までは大学生と交流したりゆったりすごしてもよく、自習に向かうまでに時間のかかる子もいれば、早速持参した問題集を広げて自習に取り組む子もいる。18 時には夕飯で一休み。大阪大学から自習サポートに来てくれるボランティアと食事をしながら恋愛トークなど雑談を楽しみ、食後は私語厳禁で集中タイム。20 時に終了で、退室時には名簿に退室時間とその日の達成度を×△○◎の 4 段階で自己評価してもらう。

大学生および社会人の自習サポーターには継続的に関わり利用者の子どもたちと信頼関係を築いてもらいたいので、毎月開催前に 1 時間程度の研修やミーティングを実施。子どもの権利条約や子どもとの関わりで注意すべき振る舞いなどを学び、都度振り返りシートを書いてもらった。

2. 実施した奨学活動の詳細

・学習支援員

大阪大学 学部生 3 名 院生 1 名 社会人 1 名

・参加人数

開催日（会場）	中高生	学習支援員	所感
7 月 20 日（Pro Kids）	6	2	夏休みモード。雑談が多い。
8 月 31 日（Pro Kids）	7	2	疲れも見られテンションが低い。
9 月 28 日（Pro Kids）	6	3	漢字の宿題を持ち込む子が多い。
10 月 19 日（Pro Kids）	9	3	宿題やクラブノート、読書で自習サポーターの活用は見られない。
11 月 17 日（団欒長屋）	10	3	定期テスト勉強、数学に取り組む。達成度も高い。
12 月 21 日（団欒長屋）	10	4	クリスマス会のため自習なし。大学生の話を真剣に聞いて受験モードに少し切り替え。
1 月 25 日（団欒長屋）	8	2	模試対策などするも達成度は低め。
2 月 15 日（団欒長屋）	7	3	学年末対策。達成度高め。
3 月 15 日（団欒長屋）	6	3	テスト直し。達成度は花丸が多い。

・活動内容の詳細



大学生が来年の受験生に向け学校選びや体験談を話す会



クリスマス会は和牛にケーキと様々な支援を得て豪華



大学生の案でクリスマスリース飾りワークショップ



スタッフ研修会の様子

・周知方法や協力いただいた関係者

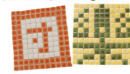
【食材支援】丸大食品(株)・日阪製作所・豊中市社会福祉協議会・(株)JACCS・大阪よどがわ市民生活協同組合・阪急阪神ビルマネジメント(株)農園部・畑のある交流サロン@北丘小学校・むすびえ・地域の方々
【自習サポーター募集チラシ】

**学習支援
ボランティア
募集中!**

こんな方を募集しています!

- ✓ 大阪大学など近隣の大学生（性別不問 / 未経験者歓迎）
- ✓ 退職した元教師・元塾講師（年齢不問）
- ✓ 学習支援を通して社会貢献をしたい方
- ✓ 人とのコミュニケーションが好きな方
- ✓ 定期的に活動に参加できる方

だんらんながやプロジェクト



【所在地】〒560-0036 豊中市蛍池西町1-3-32
【メール】 danran.nagaya@gmail.com
【サイト】 https://danran-nagaya.com/kodomo_jishujukui/



応募・問合せ
06-6836-9011

学習支援ボランティア募集中!

あなたの熱意と才能を地域社会のために活かしませんか？私たちは、学習支援で活動するボランティアを募集しています。あなたの参加が、地域社会をより良いものに変えるきっかけになります。

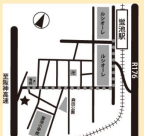
募集対象	18歳以上の方、性別・年齢不問、未経験者歓迎
活動内容	自習サポート、アナログゲーム等での交流
活動場所	団楽長屋 阪急宝塚線・大阪モノレール「蛍池」駅徒歩5分 駐輪スペース有
活動時間	毎月第一土曜16:00~20:00
研修	希望するテーマで開催可能（企画持ち込み歓迎）
報酬	5,000円/回（2025年3月末まで） ※公益財団法人の資金 伴奏型就学・学習支援活動助成
応募方法	公式LINE/メール/ホームページ問合せフォームなどから

皆様のご応募お待ちしております!



団楽長屋プロジェクト

【所在地】 豊中市蛍池西町1-3-32
【メール】 danran.nagaya@gmail.com
【でんわ】 06-6836-9011



・地域やボランティア活動との連携

団楽長屋のある蛍池には子どもが楽しめる地域行事として「蛍池納涼祭」と「蛍池ハロウィンイベント」があり、地域と連携するためどちらも実行委員として関わっている。またイベント当日もゲーム等の出店で協力しており、大学生ボランティアにも手伝いに来てもらった。学習支援でしか会わない子どもたちがステージで和太鼓を叩く姿や、ジュニアボランティアとして活動する様子を見ることができ、より地域や子どもたちを身近に感じる機会となった。

また「さんあいイベント」では豊中市職員によるフードドライブが行われ、集まった食材を当団体に寄付してもらっていることもあり、例年ゲームブースを出店。こちらも大学生に活躍してもらった。

大学生ボランティアの中には大阪大学のボランティアサークルに所属し、同じ蛍池にある子ども食堂などでも活動するなど横のつながりもある。自習サポーター募集にはチラシや SNS も活用したが、大阪大学ボランティアサークルの口コミが最も効果的だった。

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

本活動の助成金の大半はスタッフ人件費および研修講師への謝礼金に充てた。これまで学生ボランティアを募っても（多くは半年以内に辞めてしまうこともあり）特に人材育成に注力をしていなかった。報酬面では塾講師や家庭教師のアルバイトに勝てる金額を払えるはずもなく、「一人一人に丁寧に向き合ってともに学べる場」として学生を迎える必要があった。そうすることで学生の定着率が上がり、利用者である多感な十代の子どもたちとの信頼関係が構築されることを願った。子どもたちにとって阪大生は「自分とは違う世界の人」ではなく身近なお姉さんだと思えたら、大学進学へのイメージも高まり、様々なアドバイスも受け入れやすくなると考えた。

ねらい通り毎月の研修で学生個々の資質が向上したばかりか、「実践→振り返り共有」を繰り返すうちに同僚性の向上にもつながり、単なる「仲良し」ではなく実践を検討し合い、高め合い、支え合うような組織文化が醸成された。幸いスタッフの学部生は1年生のため、この好循環が永く続くよう今後も丁寧な関わりを心掛けたい。

反省点としては給与の支払いが年度末にまとめてとなってしまったためか、学生の一人が経済的な事情によりアルバイトを始め、自習サポーターを4か月で辞めてしまった。本業（同施設で認可外保育園を運営）もあって事務作業に時間が取れなかったことが原因。毎月の支払いができないことを事前に伝えるか、事情によっては一括前払いも可能な旨を伝えるべきだと思った。

本活動を始めたころはまだ子どもたちも警戒した様子が見られ、大学生との距離があった。しかし夕飯を共にし、雑談をする中で距離が縮まり、「国語って勉強方法わからへん」、「英検のライティング対策教えて」等、大学生を頼って質問する姿が見られるようになってきた。また以前は持参する教材が漢字ドリルや英語、社会など暗記ものばかりで「せっかく阪大生に聞けるチャンスなのにもったいない」と思い、数学強化月間として数学しか持ってこない日を設けると、全くわからなかった単元の理解が進み、以降は自主的に数学を持ってくる子も増えた。

今年度は中3・高3が多いので、この調子で受験を迎えられるよう伴走したい。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

自習サポーター向け研修では自分を大切に自己肯定感の講座もあり、高校時代にいじめられていたけれど無理して笑顔を作っていたことを涙しながら話してくれた大学生がいた。毎回の研修後のふりかえりシートからも、全力で吸収しようとする姿勢や、ありがたい姿と現状できていない自分との葛藤などがうかがえた。

またひとり親家庭の男子学生は工業高校卒業後、病弱な母親を助けるべく就職を予定していたが、看護など福祉関係の大学への進学も選択肢に入れたようで、この一年しっかり見守りできる限りの応援をして悔いのない選択をしてもらいたい。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリにて「S」が付されている団体）